

編 集 後 記

社保研究会の発表者、協会の会員、編集委員及び社保学術部関係者の御尽力によって、本号を発行する事が出来たことを各位に御礼を申し上げます。

発行の回を重ねる毎に投稿も増え、内容もさらに充実してきたと考えられ、嬉しい事である。今日の医療は、狭い範囲を、より深く研究をする医療の専門分業化の傾向にある。標榜科目以外は手を出さないで、診療をせざるを得ないようになってきた反面、専門以外の事に付いても、各科にわたり、現在の標準的な医療知識を持つ事を、患者からも要求される。

医療関係者に対する社会の目が厳しい現状では、我々医師はそれに対応すべく日夜、常に勉強をしなければならないと考える。この意味でも会員各位にあっては、本誌「明日の臨床」を毎日の診療の一助にさせていただきたいと願っている。

本誌には大学教授の論文から、日常の診療で気が付いたヒント迄掲載している。会員が自分の研究業績を発表する場所としても、投稿規定に従って、本誌を大いに利用して頂きたい。

(岡田達郎)

編 集 委 員 (五十音順 *印委員長)

岡 田 達 郎*	加 藤 幹 雄	城 後 俊 明
高 橋 英 世	野 村 忠 男	

明日の臨床

Vol.7 No.1

1995年11月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

名古屋市昭和区妙見町19-2

〒466 ☎(052) 832-1345

制 作 ブックエンド

領 価 1,000円 ・ 発行部数 6,500部